

胸痛

胸痛とは、胸部に感じる痛みのことを総称しています。胸部には心臓血管系、肺など生命維持に必要な重要臓器が集まっています。そのため胸部の痛みには、生命を脅かすような重大な病気が隠れている可能性が高いです。また、胸部だけでなく背部の痛みも同様です。胸部に痛みを感じたり、居合わせた人が胸部の痛みを訴えたりした場合は、近くの診療所・クリニック・病院へ受診、また状態に困ってはためらわずに 119 番に通報し救急車を呼んでください。

1. 狭心症

心臓の筋肉を養う冠動脈の血流が減少する疾患です。血流減少は冠動脈の硬化と痙攣によって起こります。症状は、胸部圧迫感、胸痛のほか、息切れ、のど、背中、腕、上腹部の痛みもあります。多くは歩行などの労作時に起こりますが、早朝、安静時などに起こるものもあります。問診と心電図から診断します。急性心筋梗塞に移行する場合がありますので早期に医療機関に受診しましょう。

症状のポイント

・運動時の痛み（安静時にも起こりえます） ・時間の経過により痛みがおさまることがあります。

2. 急性心筋梗塞

急性心筋梗塞は、冠動脈の血流が途絶する疾患です。多くは冠動脈の硬化、血栓により起こります。症状は、強い胸痛が持続し、心電図、血液検査により診断ができます。治療が遅れると死に至る大変危険な病気です。

症状のポイント

・持続や間欠性・冷や汗、皮膚の蒼白を伴う ・胸の中央が締め付けられる様に痛いなど、また糖尿病患者さんでは無痛性心筋梗塞など多岐の症状があります。

3. 急性大動脈解離

心臓から延びて腹部にまで至る親指程の太さがある血管を大動脈といいます。動脈は3層構造になっており、その内側

の膜が裂けてしまう病気を大動脈解離といいます。裂けたところが破裂すると大量に出血し、死に至る病気です。

症状のポイント ・突然の胸部、背部の痛み ・痛みが移動する場合があります。

4. 肺血栓塞栓症

静脈などでできた血のかたまり（血栓）が肺動脈に詰まってしまう病気。肺動脈は心臓と肺をつなぐ血管で、この動脈が詰まると血液が酸素を取り入れることができなくなり、呼吸困難と共に胸の痛みが現れることがあります。エコノミークラス症候群として有名で死に至るケースも少なくありません。

症状のポイント

・呼吸困難に伴う胸痛、せき、動悸があります。
・足のむくみ、足の痛みがあることも ・長時間座っていた

5. 気胸

肺に穴が開いてしまう病気です。せき、嘔吐、スポーツ、外傷が誘因となります。軽度の場合は胸痛や呼吸困難といった症状が現れないこともあります。重症化すると漏れた空気により肺や心臓が圧迫され、重度の呼吸困難、血圧の低下により死に至る恐ろしい疾患です。

症状のポイント

・胸痛に伴う呼吸困難（無い場合も） ・重篤な場合はチアノーゼ(唇や指先が紫色になる)、胸の動きの悪さ
胸痛を伴う病気は生死に関わる重大なものが多いので、早目の対応が重要となります。

港 南 区 医 師 会
横浜市港南区港南中央通 7-29
港南区休日急患診療所
診 療 日 日・祭・年末年始
診 療 時 間 午前 10 時～午後 4 時まで
電 話 8 4 2-8 8 0 6